

令和4年度地震・津波防災訓練 (内閣府・和歌山県那智勝浦町)

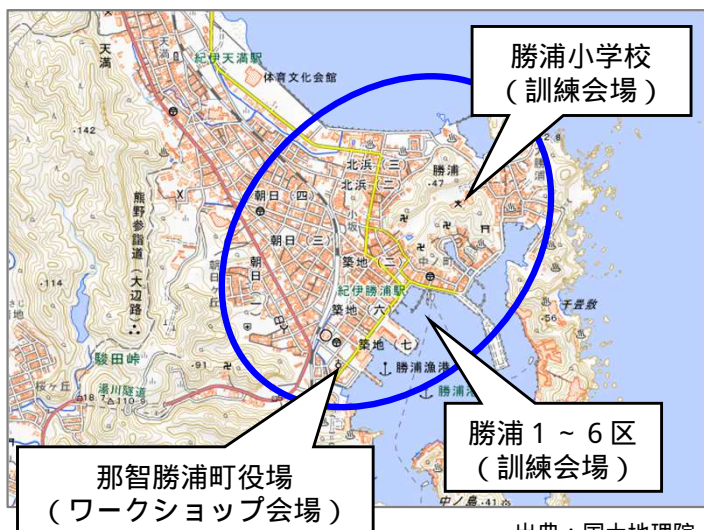
実施報告書 (概要版)

和歌山県那智勝浦町について

和歌山県那智勝浦町は、紀伊半島の南東部に位置し、気候温暖にして、風光明媚、雄大な自然に恵まれた、厚い人情と暖かさ・豊かさが溢れる町である。人口は約1万4千人で「熊野那智大社」や「那智の大滝」等、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産を数多く保有し、県下一の源泉数を有する温泉や日本有数の水揚げ高を誇る「生まぐる」を活用した観光と水産業の町でもある。

町の沿岸部は、典型的なリアス式海岸となっており、周期的に起こる南海トラフの地震や津波により、過去、幾度となく大きな被害を受けているため、平成26年3月には、和歌山県内19市町に含まれる形で「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」に指定されている。

町は、これまでに和歌山県の「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」により津波避難ビルの指定や津波避難タワー・津波避難階段等、津波避難施設の整備、堤防・護岸の整備等、地域に応じた津波対策を優先的且つ緊急的に推進してきており、令和4年度は、新たに「那智勝浦町消防・防災センター」が完成し運用を開始するとともに、自主防災組織等による各地域の避難路の整備や災害備蓄品等の確保、更には年1回以上の防災訓練や学習会の実施等、地域の防災力向上に日夜努力している。



出典：国土地理院

訓練概要

訓練想定：令和4年11月5日（土）午前9時、マグニチュード8.7の地震（東海・東南海・南海3連動地震）が発生、那智勝浦町において最大震度6弱を観測、最大8mの津波が10分後に襲来する想定のもと訓練を実施した。

実施日時：【訓練実施前WS】令和4年10月26日（水）18:30～20:15

【訓練】令和4年11月5日（土）09:00～11:00

【訓練実施後WS】令和4年11月21日（月）18:30～20:00

主催：那智勝浦町、内閣府

参加者数：約1,000名（メイン会場の勝浦小学校では約300名が参加）

参加機関：町内全域の自治会、自主防災組織等、勝浦小学校、那智勝浦町

訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設訓練、防災講演会等

訓練の特色：地震発生から5分以内に全員が屋外に出て避難開始を重点に訓練

訓練の成果

【成果】

訓練前ワークショップ、津波避難訓練及び訓練後ワークショップの接続により、当町の防災上の特性である「津波第一波の到達時間が地震発生から約10分と極めて早く、迅速な津波避難が必要不可欠」という点を踏まえての地区防災計画、特に津波到達時間を意識した地域住民主体による避難計画の作成について、確実な第一歩を記すことができた。訓練参加者からは、今回の訓練成果を自治会に持ち帰り、ワークショップや訓練を行うとともに、地区防災計画を作成して平時から取り組むべき事項の具体化を少しでも進めていきたいという意見が多く聞かれた。

【課題】

津波避難訓練では、一時避難場所等において津波避難に必要とする時間の計測を行ったが、現時点においては各地域に津波第一波到達までに避難が完了しない住民が約1割程度存在することが明らかになった。今後、個別にその要因を検証して避難経路の見直しを始めとする様々な対策を講じる必要がある。また、避難行動に支援が必要な住民について、実効性のある対策の検討が必要であるとともに、夜間や荒天時における迅速・安全な避難の実施等、「想定外を作らない」平時からの更なる備えが重要である。

今回の訓練参加者は、男性・50歳台以上が多くを占めることから、女性や多世代にわたった訓練参加が今後も期待される。また、那智勝浦町は観光地であるため今回の訓練で英語による避難指示を放送したように、外国人を含む多くの観光客等への防災に係る啓発や町内滞在者への注意喚起等も重要である。

10月26日(水) 18:30～20:15 訓練実施前ワークショップ

- ・地区防災計画の概要の講義を行った後避難計画、特に避難経路と津波避難に係る時間的な尺度等を踏まえたワークショップを行い、地区防災計画作成のための手掛かり・足掛かりを記した。
- ・ワークショップにおいては、「30cm津波到達時間と範囲」について、地図とオーバーレイを活用した「情報の見える化」を行い、参加者の理解を深めた。

総括アドバイス
(和歌山大学 佐久間准教授)



ワークショップの様子



11月5日(土) 09:00～11:00 実動訓練（シェイクアウト訓練・津波避難訓練）

- ・11月5日(土)午前9時に巨大地震が発生し10分後に津波第一波が襲来する想定の下、町内全域でシェイクアウト訓練、津波避難訓練及び安否確認訓練等を行った。
- ・メイン会場の勝浦小学校では、避難所を開設し、防災備蓄資材の取扱いを確認するとともに、防災講演会では、特に非常持出袋の展示説明を行って理解を深めた。また、ステージ上では、未来の防災の担い手である勝浦小学校5年生による防災研究発表が行われた。

シェイクアウト訓練



一時避難場所等への津波避難訓練



安否確認訓練



避難所開設訓練



防災講演会
(非常持出袋の説明)



防災研究発表
(勝浦小学校5年生)



11月21日(月) 18:30～20:00 訓練実施後ワークショップ

- ・地震津波防災訓練全般の振り返りを行った後グループ毎のディスカッション及びグループ代表者による発表を行い、特に津波避難に関する現状の問題点及び今後の改善の方向性等について、認識の共有を図った。また防災専門家による総括アドバイス、並びに南トラ臨時情報に関する情報提供を行い、地震津波防災について、より一層の理解を深めた。

ワークショップの様子

